



特集

災害救援活動に積極的に 取り組んでいます

〈2015.4月～2015.9月の活動報告〉

〈看護師レポート〉

〈地域医療連携課だより〉

「特集」『災害救援活動に積極的に取り組んでいます』

近年、火山噴火や集中豪雨被害等の自然災害が多く発生しています。平成25年には滋賀県に特別警報が発令され、多くの被害が発生しました。昨年には湖北地方で特急電車と車が衝突する事故も発生しましたが、幸い多くの乗客に被害はありませんでした。今回は、長浜赤十字病院の災害医療コーディネーターである医療社会事業部長の中村誠昌先生に聞きました。

長浜赤十字病院としての役割とは

日本赤十字社の災害救護活動には、赤十字の人道的任务として自主的判断に基づいて行なう場合と、災害対策基本法や武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律（国民保護法）における指定公共機関として、協力する場合とがあります。これらの災害救護活動を円滑に行うため、法律に基づき日本赤十字社防災業務計画や日本赤十字社国民保護業務計画を作成し、準備を整えております。

当院には、救護班を常時派遣できる体制を組んでいます。東日本大震災では、いち早く医療救護活動を行い、救護班6個班54名、こころのケアチーム3個班10名、病院支援要員6名を派遣いたしました。

地域災害医療センター（災害拠点病院）とは

当院は、滋賀県知事より平成9年1月20日付けにて地域災害拠点病院に指定されました。多くのハード・ソフト面の施設指定要件があります。中でもDMATの保有があります。DMATとは、平成17年に我が国が災害医療の体制整備の一環として養成を開始した“災害急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム”の事です。災害発生時には医療資器材を携行して被災地域内の災害現場や患者が集中した医療現場、広域医療搬送拠点（SCU）等において消防や自衛隊、自治体災害対策本部等の関係機関との調整を行い活動します。

災害救護訓練への参加

当院では、災害時の多数傷病者受入れ訓練をはじめ、地域の行事や訓練に参加し、多種多様な災害・事故などに対応できるように備えています。

今年も9月6日（日）午前中に湖北地域を震源とした震度7程度の地震に対する滋賀県総合防災訓練に災害拠点病院として職員約250名が参加し、多くの傷病者を受入れる訓練を実施しました。併せて湖北地域の地域災害対策本部（長浜保健所）や長浜小学校に日赤救護班・日赤DMATを派遣し、被害状況・医療ニーズ等の医療情報を送発信し、防ぎ得た災害死の減少に取り組みました。傷病者役としてボランティア等で参加いただいた関係機関の方々に深くお礼申し上げます。

滋賀県二次緊急被ばく医療機関とは

当院では、滋賀県知事より平成25年3月13日付けにて滋賀県二次緊急被ばく医療機関に指定されました。

二次緊急被ばく医療機関は、道府県の地域防災計画に位置づけられ、救急医療・災害医療、被ばく医療の提供体制機能を有し、原子力災害が発生した場合に初期被ばく医療機関から被ばく傷病者を受入れ、救急医療等を行う施設です。平時においては関係機関等との情報交換、訓練、研修等を通じて災害時に適時適切に対応できるように努める役割があります。当院では毎年、放射線被ばくに関する研修会を実施しております。



東日本大震災での問診



DMATによる電車事故訓練



平成27年度滋賀県総合防災訓練

医療社会事業部長 兼 救急部長 中村 誠昌



日本救急医学会救急科専門医
日本外科学会指導医・専門医
日本消化器外科学会専門医
日本DMAT隊員（統括DMAT隊員）
滋賀県災害医療コーディネーター

活動報告

4月 長浜伝統の曳山祭りにて

■長浜曳山祭りにて救護活動を行いました／4月15日（水）

4月15日（水）長浜曳山祭りがあり、看護師3名、主事3名の6名で長浜八幡宮にて救護活動を行いました。伝統ある大きな祭りということもあり多くの見物客で賑わっていました。幸い受傷者は1名のみでした。今後も赤十字救護班の一員としてチームワークを大事にして救護活動に取り組みたいです。



5月 もしもの時のために救急法を

■長浜健康フェスティバルに参加／5月17日（日）

長浜バイオ大学で開催されました長浜健康フェスティバルにて、もしもの時のBLS（心肺蘇生方法）やAED（自動体外除細動器）の使い方などを体験していただけるブースを設置し、多くの方に来ていただきました。また、お客様向けに看護師衣装や救護服の貸出しも行いました。



6月 JICA国際緊急援助隊二次隊に参加して

■ネパール地震被害救援活動の帰国報告会を開催／6月10日（水）

ネパール地震被害救援活動に参加した、社会課課長 金澤 豊 氏の帰国報告会を開催しました。金澤氏は国際緊急援助隊（JICA）の看護師として、5月7日から5月20日の2週間ネパールで救護活動を行いました。報告会では、救援活動中の5月12日にM7.3の余震を経験するなど大変貴重な救護活動経験を、現地の様子を交えて報告していただきました。



7月 原子力災害が発生した時のために

■平成27年度滋賀県原子力災害防災訓練に参加／7月12日（日）

訓練は大きく分けて、長浜ドームでのスクリーニング訓練と、本院での2次被ばく者受け入れ訓練の2つで、長浜ドームには1,249世帯、約600名の方が実際に避難されました。避難者の中で除染困難な傷病者は、2次被ばく医療施設である本院に搬送されます。訓練では救命センターの除染室でスクリーニングと除染・応急処置にあたりました。



8月 滋賀県の小児医療の充実を目指して

■小児T&A（triage & action）コースを開催／8月9日（日）

「小児T&Aコース」とは、「小児救急初療コース」のことで、『一般社団法人こどものみかた』が開催する、小児の一次・二次救急に携わる医療従事者を対象とした講習会です。小児がきたしやすい症候について、講義を受けた後、実際の場面を想定した演習を行い、臨床の中で悩む場面と一緒に共有し、ディスカッションを行いました。今後も、小児医療の充実に努めて行きたいと思います。



8月 院内感染防止のためにできること

■平成27年度院内感染防止対策委員会研修会を開催／8月10日（月）

医療法人永広会 島田病院クオリティマネジメントセンターの院内感染責任者 森下 幸子氏をお招きし、院内の感染防止対策について研修会を開催しました。研修会では、手指衛生（手洗い・消毒）の重要性を中心に、島田病院での取り組みなどを紹介していただきました。日々の業務では、より手指衛生を意識し感染対策に取り組んで行きたいと思います。



当院ホームページをリニューアルしました!!

よりわかりやすい
ホームページへ

今までのホームページを一新！より多くの皆様に当院のことを知っていただけるような、わかりやすいデザインを目指しました。今回から新たにスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけるようになりました！今後、新たなお知らせがありましたら更新していく予定ですので、ぜひ一度ご覧下さい。



地域医療連携課だより

長浜赤十字病院・連携医療機関のご紹介

✓ 長浜赤十字病院は、地域との医療連携に努めています!!

当院は、地域で急性期医療を中心に担う病院としてその機能を果たすべく努力しています。専門性の高い検査や診察、また入院が必要な治療などを分担し、初期診療や慢性の継続診療などは、お近くの「かかりつけ医」の先生に診ていただき、皆様が地域のなかで継続性のある適切な医療が受けられるように医療の連携を推進しています。

当院は、信頼される医療を提供するため地域の数多くの医療機関との連携を更に進めていきたいと考えています。

✓ 地域の皆様へ

当院受診(初診)の際には、紹介状をお持ちになって受診して頂きますようお願いいたします。また、病状が安定してきた患者さまには、紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニック(かかりつけ医)等を紹介させていただいています。



伊藤内科医院

伊藤先生からのメッセージ

平成18年に開業し、9年が経ちました。これからも、丁寧な診療を心がけ、地域医療に少しでも貢献できればと考えています。

消化器が専門ですが、様々な症状の患者さんに適切な医療を提供できるよう努めていきたいと思っています。



《医 師》 伊藤 誠紀
《診 療 科》 内科、消化器科
《住 所》 米原市入江1673番地
《電 話》 0749-52-3534
《往診診療》 有 《訪問診療》 有
《U R L》

<http://www.myclinic.ne.jp/itonaikaiin/pc/>

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00	○	○	×	○	○	○	×
午後	16:00～19:00	○	○	×	○	○	×	×

社会福祉法人青祥会

セフィロト病院

畑下院長からのメッセージ

セフィロトの語源はヘブライ語で「いのちの樹」を意味します。「住み慣れた湖北地域でいのちをつないでいく…」このことを実現するため、5月には認知症治療病棟を開設し、10月には認知症疾患医療センターの指定を県から受けることとなりました。

青祥会として長年培ってまいりました精神疾患や認知症の医療および看護の力を最大限に発揮し、地域の皆様から信頼され地域に貢献できる医療を目指し職員一同研鑽に努めています。



《院 長》 畑下 嘉之
《診 療 科》 精神科、老年精神科、内科
《住 所》 長浜市寺田町257
《電 話》 0749-62-1652 (代表)
《往診診療》 無 《訪問診療》 無
《U R L》

<http://www.seishokai.jp/sephiroth/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～17:00	○	○	○	○	○	○	×

※休診：日曜日・祝日
年末年始（12月30日～1月3日）
夏季（8月15日）

つじ歯科医院

辻先生からのメッセージ

生涯にわたり美味しく食べられることを願い、口腔衛生指導と、できるだけ削らない、抜かない治療を心がけています。特殊な治療として自家歯牙移植、インプラント、体に優しいCAD-CAMによるセラミックの被せもの治療を取り入れています。



《医 師》 辻 裕文
《診 療 科》 歯科、小児歯科
(小児歯科専門医)
《住 所》 長浜市南呉服町2-11
《電 話》 0749-65-2233
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～13:00	○	○	○	×	○	○	×
午後	14:30～18:00	○	○	○	×	○	○	×

森上内科循環器科クリニック

森上先生からのメッセージ

一般診療所の受診のしやすさと循環器疾患に対する専門性の高さを併せ持つ医療機関を目標に開業して12年目になります。現在、医師2名、看護師4名、医療事務2名の体制で、地域の皆さんに受診してよかったと思っていただけるような分かりやすい丁寧な説明を心がけています。



《医 師》 森上 直樹
濱谷 朋和
《診 療 科》 内科、循環器内科
《住 所》 長浜市七条町1023-1
《電 話》 0749-64-4846
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00	○	○	○	×	○	○	×
午後	15:30～19:00	○	○	○	×	○	×	×

看護師レポート

～当院のオーラルサポートチームを紹介します～

オーラルサポートチーム (Oral Support Team : OST) とは

抵抗力の弱い患者さんの口腔内環境は、全身状態の予後やQOL（生活の質）に影響を与えます。病院で行われる口腔ケアは、単なる清潔ケアとしての歯みがきだけでなく、口腔内環境の維持や改善を図ることによって様々な疾病予防が期待できます。

歯科口腔外科医師、歯科衛生士、言語聴覚士、認定看護師の多職種によるチームメンバーでサポートを行う事により、患者さんの全身状態の改善やQOLの維持向上を図る事を目的に活動しています。

どんな方が対象なの？

入院中の患者さんで、「口腔内の乾燥・舌苔・口臭がある」、「口内炎・出血・口腔カンジタ症などの症状がある」、「拒否や開口困難などにより口腔ケアの実施が難しい」、「口腔ケアの手技や口腔ケア物品の選定についての相談」等について依頼を受け、毎週月曜日に定期的にチームでラウンドしています。

活動内容は？

病棟スタッフと一緒に患者さん個人に合った方法を検討し、ケアの見直しや改善に努めています。また、看護師に対して研修会を開催しスキルアップを目指しています。今後も口腔内のトラブルが少しでも軽減でき、入院生活が快適に過ごせるようにサポートしていきたいと思っています。

5西病棟 看護師長 赤井 信太郎



今回の表紙

長浜・北びわこ大花火大会救護

今回の表紙は、花火大会の救護所にて医師による診察の様子です。今年も夏の風物詩である花火を見に多くの見物客で賑わいました。当院では、約10年前から毎年救護所を設置しております。これからも、花火大会の救護に限らず皆様に少しでも安心していただけるような救護を心がけていきたいと思っています。



理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

基本方針

1. 患者さまの人権を尊重し、安全で高度な医療を提供します
2. 地域の保健・医療機関との連携を強化します
3. 救急医療を充実します
4. 災害救護、国際救援に積極的に参加します
5. 最善の医療を提供するため常に研修・研鑽に努めます

患者さまの権利宣言

1. 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
2. 医療上の情報・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
3. 治療方法などを自らの意志で選択する権利
4. プライバシーが保護される権利
5. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院